

授業科目名	社会学		授業形態	講義	授業科目区分	一般科目 (社会・文化・自然科目)		
担当教員名	前田 博子・北村 尚浩				補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	2年次		受け入れ人数	50名程度	
授業の概要	<p>(前半) 社会のさまざまな現象を解釈する社会学の視点を身につけるため、ここでは「家族」をトピックとして取り上げる。 家族の実態を観察し、それを取り巻く制度、変動、規範、逸脱などの視点で理解する能力を身につける。</p> <p>(後半) 社会の基礎となる集団に関する複数のトピックを取り上げ、それぞれについて概観するとともに現代社会における課題を理解する。</p>							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
				授業期間			定期 試験	割合 %
				授業	テスト	レポート		
	■認知的領域	(前半)家族の今日的状況について知り、その課題を理解する。家族の課題を、社会学的視点から解釈できる。 (後半)家族、国家、組織など社会集団について現代社会における課題を理解する。		○	○			70
■情意的領域	授業に積極的に参加する。 課題に意欲的に取り組む 社会問題と社会学的視点に興味・関心を持つ。	○					30	
□技能的領域								
成績評価の基準	授業時間内に随時実施するレポートと最終レポート、および授業に対する積極的な取り組み方等を総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	<p>参考書として、次のものを挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井上俊他編『岩波講座現代社会学 19 「家族」の社会学』（岩波書店） ・目黒依子、渡辺秀樹編「講座社会学2 家族」（東京大学出版会） <p>その他、参考書は適宜紹介する。また必要に応じて資料を配付する。 iPadを使用する（北村）。</p>							
履修条件・ 関連科目	人権論、ジェンダー論（履修しておくことが望ましい。）		備考(教員メッ セージ含む)	授業時間内に随時実施する複数回の小テストを受け、また、課題を必ず提出すること。				
オフィス・アワー	随時（前田：606研究室 北村：生涯スポーツ実践センター及び610研究室）							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	前田 博子	「家族社会学」とは 家族の形態 結婚			参考書・資料等の復習および予習			
2	〃	「出生」の社会学			参考書・資料等の復習および予習			
3	〃	「養育」の社会学			参考書・資料等の復習および予習			
4	〃	「パートナー」の社会学 「家族」とは			参考書・資料等の復習・予習・レポート			
5	北村 尚浩	家族とライフコース			参考書・資料等の復習および予習			
6	〃	組織とネットワーク			参考書・資料等の復習および予習			
7	〃	国家とグローバリゼーション			参考書・資料等の復習および予習			
8	〃	文化と再生産/確認テスト			参考書・資料等の復習および予習			